

連携室便り

発行日：24年1月

取手北相馬保健医療センター

医師会病院

—医療連携室便り—

—第25号—

院長新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は会員の先生方をはじめ、多くの医療機関や施設関係の方々にお世話になりありがとうございました。

思い返せば昨年は、病院としましては大変な一年でした。3月11日の東日本大震災において病院自体も被害を被り、約2週間にわたり通常の業務が停止状態となりました。さらに4月に入って、突然の修復不能なCTの故障が重なり、予定していた年度計画の大幅な見直し、下方修正を余儀なくされました。厳しい中で職員一同はよくやってくれたと思いますが、状況に対応することで手いっぱいであったというのが実情でした。

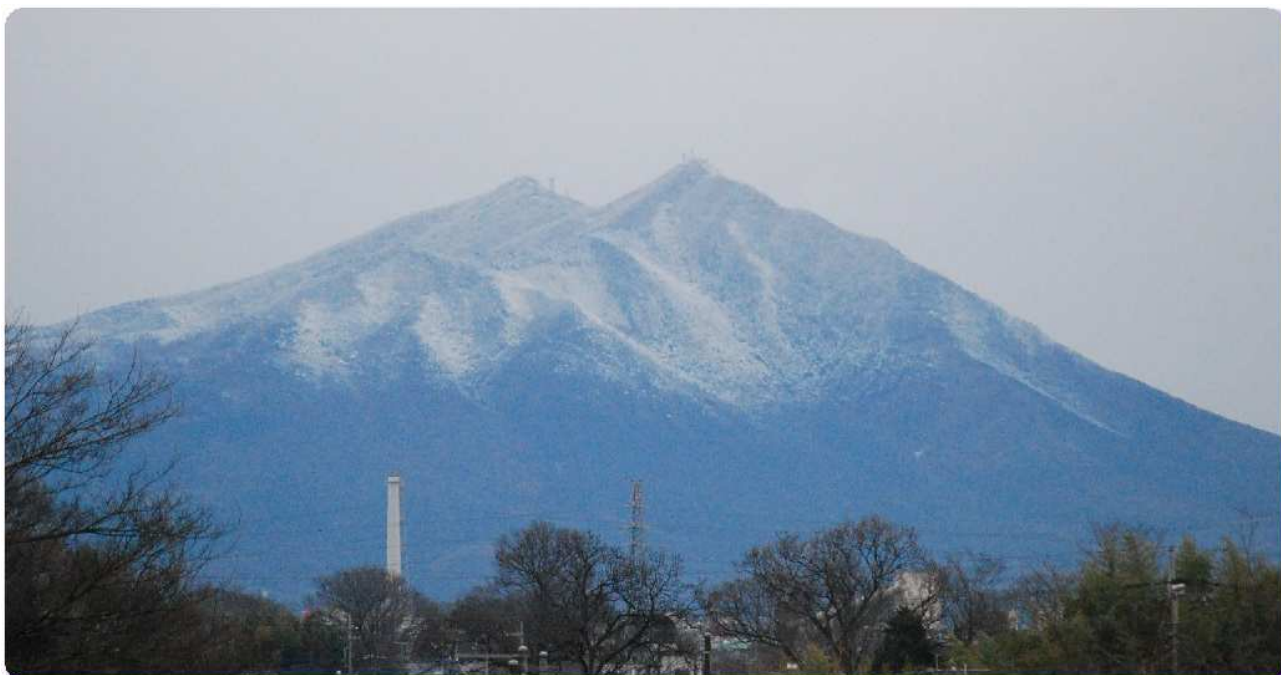
さて今年は、少し落ち着いて「医師会病院」としての本来の方向性、体制作りの構築に望もうと考えています。患者、家族を中心に据え、会員の先生方とより一層連携を深め、先生方のニーズに応えられるように努力していく所存です。安定した経営状況をめざし、入院を主体とした体制の元、先方の紹介患者に対し速やかな対応を図り、逆紹介率のさらなる増加をめざします。

具体的課題としては1、内科常勤医師の増員。2、以前より病院の経営上課題となっている外来処方の院外への移行の実施。3、4月の診療報酬改定への対応。4、事務部門の業務分担の見直し。5、日本病院機能評価取得への検討。を挙げさせていただきます。

いずれにせよ、先生方と共に運営、発展させて行くのが医師会病院であります。今年も、引き続き御指導、御協力をお願いします。

取手北相馬保健医療センター医師会病院

院長 鈴木 武樹



副院長新年のご挨拶

取手医師会の皆様、あけましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。未曾有の大災害を決して忘れず、その際の絆を糧として院長を補佐し、一層の飛躍をすべく努力して参ります。皆様におかれましてはますますのご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

昨年導入されました新型 CT は、その線量の少なさと使い勝手の良さから、冠動脈 CT のみならず一般撮影でも極めて有用です。どうかご利用頂けますようお願い申し上げます。

冠動脈 CT につきましては別途記事を載せております。本年の大きな課題としましては、今春開始を目指して外来の院内調剤から院外処方箋への移行、地域連携システムの稼働など、システムの電子化を進めながら新体制を目指して参ります。特に院内調剤の原則廃止は創設以来の大きな変革と成りますので、皆様ともよくご相談しつつ慎重かつ迅速にすすめて参ります。



一層のご指導ご鞭撻とご支援を頂けますようお願い申し上げます。

取手北相馬保健医療センター医師会病院
副院長 渡邊 寛

退職のご挨拶

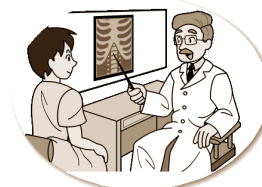
整形外科 許表楷



新年あけましておめでとうございます。

整形外科の許表楷でございます。昨年は当医師会病院も被災した大変な震災のなか、病院職員はもとより日本人の秩序の正しさや忍耐強さ、これを乗り越え回復しつつあるさまを見ていますと、日本は本当に素晴らしい国だなと感慨深い一年でした。さて私事ですが、平成二年より筑波大より赴任して二十余年奉職して参りました医師会病院を、この春に退職いたしまして、取手市ゆめみ野にクリニックを開院する決心をいたしました。医師会の皆様、医師会病院のスタッフ各位との連携を重視しつつ、新駅も完成し新しい住宅が出来ていく地で、初心に返って地域医療に微力を尽くしたいと決意を新たにしております。なお、以後の整形外科の対応に関しましては、母校の筑波大学整形外科にも当院の重要さを十分認識して頂き、地域の皆様や会員の皆様にご迷惑をかけないように調整していただいております。詳細は、後日ご報告させていただきますが、どうかご安心ください。

医師会病院在職中は大変お世話になりました鈴木武樹院長はじめ、スタッフ各位に心から感謝申し上げますと共に、これからもよきパートナーでありたいと念じております。また今後は取手医師会の開業医として、皆様の末席に加えて頂けますようお願い申し上げます。新年及び退職のご挨拶とさせていただきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

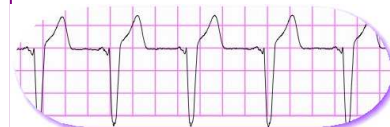
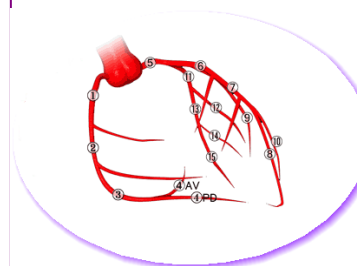
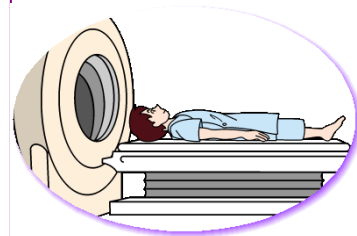


64列MDCT

昨年7月より稼動しております最新型64列MDCTの中で、今回は冠動脈CTについて詳しくご紹介させていただきます。

適応、役割、可能性

冠動脈疾患が疑われる症候性患者における冠動脈病変の検出、除外診断。
無症候、中～高リスク者の冠動脈スクリーニング。
急性胸痛の鑑別診断。
冠動脈カテーテルインターベンション(PCI)、バイパス術(CABG)後評価。
冠動脈カテーテルインターベンション(PCI)術前評価。
冠動脈プラークの検出、性状評価及び追跡評価。
冠動脈奇形の診断、評価。
心臓カテーテル検査を望まない患者。



メリット

入院の必要がなく外来で検査可能。
心臓カテーテル検査に比べ、非侵襲的、短時間、低コストで検査可能。
冠動脈内腔の評価だけでなく、冠動脈プラークの有無、性状を評価できる。
必要に応じて心臓以外の情報も得られる。

デメリット

造影剤アレルギーがある方は検査ができない。
冠動脈の石灰化が多い場合、診断(読影)不能の場合がある。
造影剤による副作用の可能性はある。
患者の状態、高心拍数、不整脈などにより、被ばく線量が多くなる。
通常：冠動脈撮影(約4mSv)、冠動脈CTの場合(約10～15mSv)
径3mm以下のステントの場合、内腔の評価が困難。
体格の良い方また高体重の方は、線量不足のため画質低下の可能性はある。

絶対禁忌

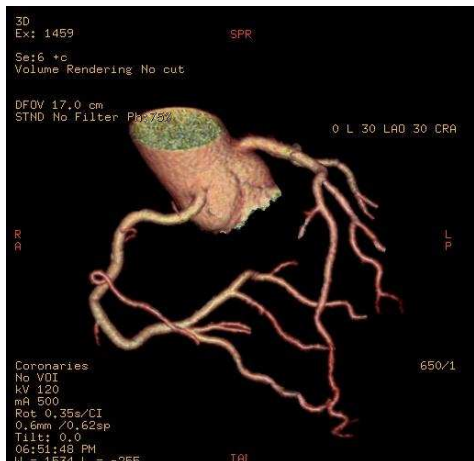
造影剤アレルギーがある方。
腎機能が低下している方。
(当院ではCr2.0以上)
息止めのできない方。(15～20秒程度)
意思疎通ができない方。
期外収縮が頻発している方。
妊娠している方。

相対禁忌

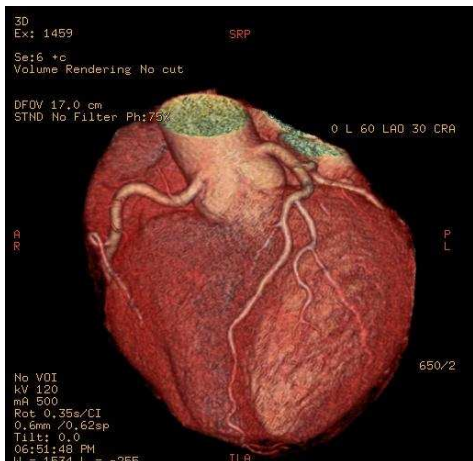
不整脈が多数出ている方。
頻脈でさらにβ遮断薬が禁忌である方。
心房細動がある方。
冠動脈に石灰化が多い方。
アレルギー体質の方。

* 上記の方は正確な診断、検査ができない場合があります。

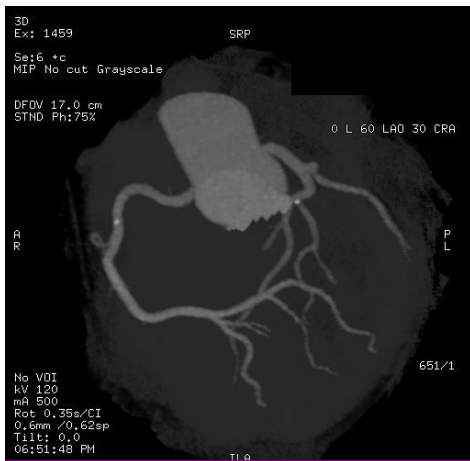
当院での冠動脈 CT 検査の作成画像(基本,右 2 本 PLB,PDA, 左 2 本 LAD,LCX)



ボリュームレンダリング像(血管のみ)

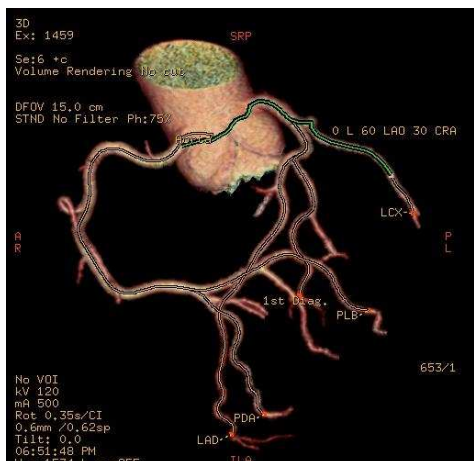


ボリュームレンダリング像(心臓全体)②



アンギオグラフィックビュー③

①②③共に 6 方向。(60LAO, 30LAO30CRA, 30RAO, 30CAU, 90LAO, 60LAO30CRA)



ボリュームレンダリング像 (血管のみ) 血管名を付けた 1 画像。

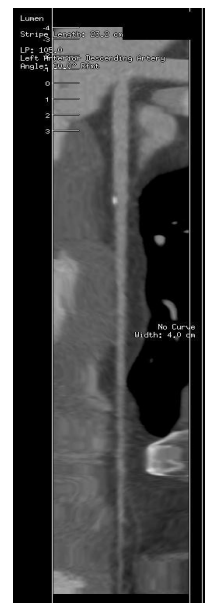


曲面変換表示法(CPR) 角度を変え 10 画像。

昨年の運用状況

9 月下旬に撮影を開始し、年内に計 13 件の冠動脈 CT の検査を実施しました。撮影プロトコル、検査手順、画像解析など、筑波大学循環器内科准教授佐藤明先生と当院副院長兼循環器センター長渡邊寛先生のご指導のもとに、さらに経験を重ね冠動脈 CT 検査方法の確立し、より良い検査、画像解析、読影を提供できるように努力して参ります。

放射線科 八田 義憲



曲面変換表示法(Stretched CPR) 角度を変え 19 画像。

非常勤医師紹介 (今回は内科をご紹介します)

橋詰 清江 (はしづめ きよえ) 先生 平成21年9月28日付
聖マリアンナ医科大学 消化器内科・漢方
診察日時 毎週月・水・木 午前・午後

倉岡 瑛子 (くらおか えいこ) 先生 平成22年6月19日付
中国上海中医大学 東洋医学 内科一般
診察日時 第1.3.5週土曜日 午前

桐木 園子 (きりのき そのこ) 先生 平成23年12月9日付
独協医科大学 内分泌内科
診察日時 毎週金曜日 午前



部署からのお知らせ<検査科>

日頃は大変お世話になっております。

私達は病院の理念に沿って業務を行うように毎朝朝礼にて、下記の理念を全員で合唱しています。

<理念のHEART>

Hospitality : 優しさに溢れた医療、**Efficient** : 迅速で効率的な医療、

Academic : 向学心に満ちた医療。**Regional** : 充実した地域医療、 **Trustful** : 信頼感のある医療

まずは全員が声に出し、日々確認することを第一歩として実行しています。

受託検査の電子データ対応について

近年の電子カルテ化に伴い、現在報告データの電子媒体 (USBメモリ等) 対応を進めています。具体的には来春を予定に数社に対応するように検討中です。ご存知の通り、現在は完全な統一規格が残念ながらされていないのが実情です。ただ、全体的にはメデス形式に準拠されているものが増えております。今後は、病診連携や病病連携が進む方向ですので規格が統一化されていくことが予想されます。



当検査室は創立以来、先生方の検査室として動いております。いたらぬ点多々あるとは思いますが今後はさらに全力をあげて対応する所存です。どうぞ、多数のご利用を心よりお願い申し上げます。

検査科 科長 古田 恒二

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

去年は毎朝目がさめるたびに、何かしら世の中に信じられないようなことが起こっていて、心の安まる日のない一年でした。またお正月のニュースでは、海上保安庁ダイバーによる東日本大震災の行方不明者の捜索が、極寒の海の中行われておりました。・・・まあ、わたしは一般市民なので、強風の吹く極寒の海に飛び込むことは出来ませんが、それでも少々のことでは負けない精神力と、体力強化を目指し、今年も頑張りたいと思います。

本年が、平和な一年でありますように・・・

今年も 頑張るぞ！！



表紙を飾ってみませんか？

写真を募集しています。

テーマは限定しておりません。ご自慢の写真をお待ちしております。

お問い合わせは、医療連携室までお願いいたします。

編集：医療連携室

TEL:0297-78-6183(直通) TEL:0297-78-6111(代表)

FAX:0297-78-6184